

ヘアマゼラン システムトリートメントとカラー工程表

1 ヘアマゼラン シャンプー・毛髪診断・タオルドライ

ヘアマゼランシャンプーで髪の汚れを落とし、しっかりタオルドライする。ウェット状態で毛髪診断をする。

シャンプーで髪の汚れを落とし、手で握っても水がしみでない程度までしっかりタオルドライします。シャンプーはヘアマゼランシャンプーがおすすめです。濡れた状態でコームを通し、引っかかる箇所があるかないかを確認します。



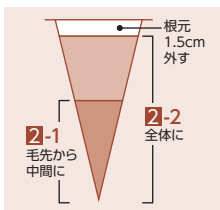
2 ヘアマゼラン ゼロ (0) 塗布・チェンジリンス

シャンプー台でヘアマゼラン ゼロ (0) を髪の毛先から中間にかけて塗布する。次に全体に塗布する。



2-1 毛先から中間に規定量の半分を塗布し、コームでしっかり髪になじませます。約2分放置後、シャンプーボウルに2L位のお湯をため、2分間程度、カップを用いてチェンジリンスします。髪を手で握っても水がしみでない程度までしっかりタオルドライします。

2-2 残りを根元1.5cmは外し、全体に塗布し、コームでしっかり髪になじませ、チェンジリンスします。その後、タオルドライします。



3 ヘアマゼラン ウン (1) 塗布

シャンプー台でヘアマゼラン ウン (1) を髪の毛先か中間にかけて塗布し、その後全体にのばす。

根元1.5cmは外して毛先から中間に塗布し、コームでしっかりと髪全体にのばしてなじませます。



4 チェンジリンス・タオルドライ

チェンジリンスし、しっかりタオルドライする。

シャンプーボウルに2L位のお湯をため、2分程度、カップを用いてチェンジリンスします。髪を手で握っても水がしみでない程度までしっかりタオルドライします。



5 ヘアマゼラン ドイス (2) 塗布

ヘアマゼラン ドイス (2) をフォーマーポンプ、あるいはハケで全体に塗布する。

全頭を10ブロックに分け、各ブロックにつき規定量の10分の1ずつを根元1.5cmは外してサイドブロックから塗布し、全体になじませます。



6 50%ドライ

湿熱ツインブラシとドライヤーまたは湿熱蒸気で半乾燥 (50%ドライ) 状態にする。

全頭を10ブロックに分けます。ツインブラシ (または湿熱蒸気を使用) で髪を整えてから、5cm幅のスライスに対してツインブラシとドライヤーまたは湿熱蒸気で、温風を2回通します。根元を立ち上げるときは、アップシステムで行います。

バックもサイドもブロックの下から上の順に、半乾燥していきます。各スライスに対して、ツインブラシと温風を2回程度通し、50%ドライ状態にします。※ツインブラシ後の半乾燥 (50%ドライ) 状態を確認しておくこと。



7 水分調節

髪全体の水分量を調節します。

スプレーヤーで髪全体に水を塗布してください。

コーミングしても束になる程度の水分量が目安です。

※工程6が湿熱蒸気の場合はこの工程は実施せず、工程8に進んでください。



8 ヘアマゼラン トレイス (3) 塗布

ヘアマゼラン トレイス (3) をハケで全体に塗布する。

全頭を10ブロックに分けます。1ブロックあたり、規定量の10分の1のヘアマゼラン トレイス (3) を2回に分けて塗布します。始めはダメージが高い毛先3~5cmあたりに塗布し、手でなじませます。その後、コームを使って中間から根元の方に上のように塗布していきます。さらに、付きが少ないスライスの間あたりに付け、根元へ向かって全体にのばしていきます。根元1.5cmは外します。



工程1でコームが引っかった場合のみヘアマゼラン ウン (1) を再塗布する。

●引っかからない場合: 工程9へ

●引っかかる場合: ヘアマゼラン ウン (1) 少量を毛先のダメージ部に再塗布し、よくなじませます。



9 100℃アイロンスルー

100℃設定のアイロンを3回スルーする。

全頭を10ブロックに分けます。アイロンは100℃に設定しておきます。1スライスを5~7cm幅でとり、1スライスにつき3回ほど (10秒を3回*) アイロンスルーを行います。CMCのガラス転移点である85℃以上まで髪を加温することが大切です。これにより、CMCを髪のダメージホール内に均等に行きわたらせます。バックもサイドもブロックの下から上の順に、ゆっくりアイロンスルーしていきます。※85℃以上の髪とは、アイロン直後に触れたときアチャッとなる程度

*ミドルの場合



10 クーリング

ドライヤーの冷風でクーリングし、3分間放置する。

ドライヤーの冷風を使って髪全体を冷やしていきます。その後、ジャンボコームでバックコーミングし、3分間ぐらい放置します。これにより、85℃以上の加温で溶かしたCMCを冷やし、髪内部の液晶ラメラ構造の再構築を促します。また、放置することで、CMCやケラチンをしっかり定着させます。



11 水洗

水洗する。

そのまま水洗して軽く水を切った後に、良くタオルドライします。



12 カラー施術

お客様の好みの色に合わせた、通常のカラー施術を行います。



13 シャンプー・水洗・後処理

ヘアマゼラントリートメントでトリートメントを行う。

ヘアカラーの残留物を除去します。水洗後、ヘアマゼラントリートメントでトリートメントを行います。

※お客様の髪で色落ちしやすい部分がある場合は、さらに追加でヘマヘマ10倍でチェンジリンスして、さらにキトキト10倍でチェンジリンスしましょう。



14 ヘアマゼラン トレイス (3) 再塗布

ヘアマゼラン トレイス (3) を塗布する。

後処理後のお流しでタオルドライまでしたら、ヘアマゼラントレイスを少量塗布していきます。塗布ができればタオルドライをして余分な水気を取っておきましょう。ヘアマゼランによる質感を、お客様の好みに応じてあわせるための工程です。



ライトな質感を求めるとき:水洗する。その後、シャンプーコーミング。

フォーマーポンプでヘアマゼラン シャンプーと水 (1:1) を泡立て、ジャンボコームでコーミングします。水洗して、軽く水を切った後に、ヘアマゼラン トレイス (3) 少量を髪全体になじませ、良くタオルドライします。

15 ドライ・アイロンスルーまたはコテ巻きまたはアイロンブラシ

ドライヤーで80~90%ドライする。その後、140℃設定のアイロンで2回スルー、または160~180℃設定のコテで巻くまたは、アイロンブラシ。

ドライヤーで80~90%ドライします。その後、140℃設定のアイロンで、1パネル1.5~2cmで2回スルーします。バックもサイドもブロックの下から上の順に、蒸気が出る程度までゆっくりアイロンスルーしていきます。

キューティクルケラチンのガラス転移点である105℃以上をくぐらせると表面の凹凸が整い、髪に弾力とツヤがあらわれてきます。

※105℃のガラス転移点温度にする工程です。伸ばす工程ではありません。



16 仕上げ

ハンドブローでスタイルを作って仕上げる。

ハンドブローでスタイルを作ります。ここで完全ドライして仕上げになります。

仕上げには、ガルバエマルジョン、ガルバミストがおすすめです。



- モイスチャーテスト:長さに応じてガルバエマルジョン1~2プッシュを塗布。しっとりさせたい髪や、硬毛、広がりを抑えたい髪に。
- ライトテスト:全体にガルバミスト2プッシュを塗布。紫外線からのダメージを軽減。髪のとつやと軽さが欲しい髪に。



17 ホームケア

専用 ヘアマゼラン シャンプー・トリートメント

ホームケアとして、専用のヘアマゼラン シャンプー・トリートメントをおすすめしましょう。システムトリートメントの効果が持続し、お客さま満足度も高まります。7日間継続使用していただくことで、残留物(過酸化水素やアルカリ)除去の効果があります。



【ご注意】 この工程表は、ヘアマゼランの正規取り扱い店さまにのみ配布しています。本工程表のコピー、スキャン、デジタル化などの無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。絶対に行わないでください。第三者に依頼してスキャンやデジタル化することも、たとえ個人や家庭内での利用でも著作権法違反です。